

《担当者名》○花岡 真佐子(非) [hanaoka@hoku-iryo-u.ac.jp]
佐藤 公治(非) [sato@edu.hokudai.ac.jp]

【概要】

「教育」とは、内容の伝達としての「教える」と、人間が育つのを外側から引き出すこと「育てる」を意味し、人間に対する変革への働きかけといえる。

本講では「人間に対する目的意識的な人間形成への働きかけ」という「教育の本質」を問いながら、看護学教育のあり方を考察する。つまり、看護学として「どのような知識と技能」を伝えるべきかを問い、同時に人間形成をどのように促すかを問う。

【学修目標】

1. 伝統的な学習観と新しい学習観の概要を説明できる。
2. 教育方法の一つであるヴィゴツキー学習理論の概要を説明できる。
3. 学習のメカニズムをもとに自らが体験した学習内容と方法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	授業のすすめ方 1. 看護学教育の変遷(1)	ゼミナール形式で文献講読とディスカッションで進める。 昭和時代から平成時代の看護学教育制度の概要を知る。	花岡
3) 4	1. 看護学教育の変遷(2)	稲垣佳世子・波多野誼余夫『人はいかに学ぶか』を読み解く。 1) 第1章「伝統的な学習観」 2) 第10章「新しい学習観にもとづく教育」	花岡
5) 6	2. 教えることの意味(1)	稲垣佳世子・波多野誼余夫『人はいかに学ぶか』を読み解く。 1) 第2章～第6章から選択 2) 第7章「参加しつつ学ぶ」	花岡
7) 8	2. 教えることの意味(2)	稲垣佳世子・波多野誼余夫『人はいかに学ぶか』を読み解く。 1) 第8章「知識があるほど学びやすい」 2) 第9章「日常生活のなかで学ぶ知識の限界」	花岡
9) 10	3. 学習理論の概要(1)	教育改革によるアクティブラーニングの背景 1) 知識の習得を重視する「系統的学習」 2) 考える力の育成を重視する「問題解決学習」 3) 看護学教育は何をを目指すのか	佐藤 花岡
11) 12	3. 学習理論の概要(2)	ヴィゴツキーの発達・学習理論 1) 行動主義から認知心理学へ 2) ヴィゴツキー「発達の最近接領域」 3) 思考作用に関わる言語という分化的道具	佐藤 花岡
13) 14	4. 看護学教育の課題(2)	1) 門脇厚司『子どもの社会力』第2章「社会を成り立たせる人間の条件とは何か」を読み解く。 2) 上田薫『人が人に教えるとは』医学書院,1995年を読み解く。	花岡
15	4. 看護学教育の課題(3)	4) グレグ美鈴編『看護教育学』第7章「臨地実習における教育と学習」を読み解く。	花岡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（60%）、討議への参加(40%)を総合評価する。

【教科書】

- 1) 稲垣佳世子・波多野誼余夫『人はいかに学ぶか』中公新書,1989.(720円)
- 2) グレッグ美鈴・池西悦子編『看護教育学』南江堂、2018.(2500円)

【参考書】

- 1) 赤尾勝巳編『生涯学習理論を学ぶ人のために』世界思想社,2004.(絶版)
- 2) 藤岡完治・堀喜久子編『看護教育の方法』医学書院、2002.(絶版)
- 3) 波多野誼余夫編『自己学習能力を育てる』東京大学出版会、1980.

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。